

令和7年度  
議事録 第1回CS（学校運営協議会）

日 時：令和7年5月15日（木） 14:40～16:00

参加者：津波古 充仁、西銘 宜正、上原 良三、仲本 多美子、普天間 邦光、  
津波古 充也、上江洲 太志、  
校長、教頭、市教委（中上 郁夫参事、仲宗根 みゆき地域連携コーディネーター）

【会順】

1 学校長挨拶

2 熟議

- (1) 令和7年度学校運営協議会役員紹介及び委嘱状の交付、並びに会長選出について  
(2) 令和7年度学校経営について

委員：学年内における交換授業、ローテンション授業の具体的な取り組みを教えてほしい。

校長：今年度実際に交換授業をしているのは、5・6年生で、5年生は外国語と総合の授業を6年生は国語と算数の授業を交換し、1組の担任が2クラスの国語を2組の担任が2クラスの算数を教えるという形。ローテンション授業は道徳でやっていく。道徳に関してはこれから。

委員：教師にとっても子どもにとってもいいと思う。教材研究の時間が減り、授業の質が上がるため。ただし、学年によっては経験の浅い先生もいるので、その先生たちに負担感がないか。

校長：一緒に教材研究をすることもあるので、学年でカバーしていく。

委員：去った授業参観日で実際に見て驚いたが、子どもたちにとってはいいことが多いかなと感じた。

委員：児童数が増えていくと予想されているが、教室はどうなるのか。

校長：現在の教室だけで足りなくなれば、特別教室（図工室・家庭科室等）を普通教室にしたり、2・3階のピロティーを教室として増設したりするであろう。

参事：2・3階のピロティーが教室として増設できるような設計になっている。

校長：前年度まであった英語ルームを今年度は特別支援の教室にしたり、1年生は全て同じフロアにしたりと工夫している。

委員：人権教育にも力を入れているとのことなので、「社会を明るくする運動」の作文コンクールにも是非取り組んでほしい。

校長：授業でも教えるべきことがあるので、どの時間で取り組めるか、また、子供にも負担がないかなどを精査していく。

委員：人権意識は日々育てていかなければいけない。他校で毎月1日を人権の日と設定し、放送を流したりしているが。

校長：本校でも毎月決まった日に設定し、朝の放送等を利用して行っている。

委員：人権擁護委員による「人権教室」も先週から大里北小は取り組んでくれている。

毎年、全学級で取り組んでくれて嬉しい。

(3) 令和7年度主な学校行事について

- ・質疑無し

(4) 令和7年度学校予算について

委員：QU テストを実施しているようだが、実施後の研修等はどうなっているか。

校長：全員で見方等について共有し、「要支援群」に属する児童について重点的に見ていく。「要支援群」に属する児童については、その子への対応や集団への働きかけ等を学年で検討し、支援していく。また、秋に実施する2回目の検査結果で該当する子がどうなったか検証していく。また、「侵害行為」にチェックが入っている子には診断結果を待たずにすぐに支援に入る。

委員：担任1人に任せることなく、学年で対応してほしい。1人で背負いこまないようみんなでどう対応していくか話し合ってほしい。学級作りにも使ってほしい。

校長：学年のみならず、他の職員も一緒に対応していく、より良い学級作りに努めいく。

3 その他

校長：運動会について（来月の熟議内容となる）

- ①従来通り日曜開催となると、1日休日をはさむので取り組んだことが振り出しに戻る子もいる。また、職員も土曜日に出勤する者もでてくるという理由から、今年度は土曜日開催としたい。
- ②「弁当」をはさんだ午後までの開催とするか、午前中までとするか。多様な家庭があることも考慮していかなければいけない。

委員：子どもたちは「弁当の日」を楽しみにしている。登校するときも嬉しそうである。

3回から増やせないのか。

校長：様々な家庭があり、準備が難しいという家庭があることも現状である。食育の大切さもあるが、そこら辺の折り合いをつける必要があり、学校給食協議会で話し合いが行われる。

確認事項

- ・来月から本会議の開始時刻を15時15分とする。